

(その三)

| | |
|----------------|------------------|
| 工場又は事 業場の名称 | 日本曹達株式会社 千葉工場 |
|----------------|------------------|

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 3 | 1 | 5 | 1 | 5 | 2 | 5 | 3 | | |

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

Handwriting practice lines consisting of ten sets of horizontal dashed lines for letter formation.

(その四)

| | |
|------------|------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 日本曹達株式会社 千葉工場 |
|------------|------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進歩状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|--|------------------------------|-------------------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進行している。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進行している。 (一部に課題がある。) | 削減目標を概ね達成できた。 (一部に課題がある。) | 計画年度の目標を概ね達成でき た。 (一部に課題がある。) |
| C | 目標年度の目標の達成に困難的な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な 課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|-------|
| （記入欄） |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|------------|------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 住友化学株式会社 千葉工場 |
|------------|------------------|

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 5 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | | | | |

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 1

当千葉工場の合成ゴムプラントで排出される、n-ヘキサンについて蓄熱燃焼設備の設置
工事は平成21年5月末に完成しました。

対策 2

①当千葉工場の高圧ポリエチレンのペレットサイロから排出される酢酸ビニルについて、
サイロの排出ペント配管をボイラーの燃焼空気に接続して酢酸ビニルを燃焼させている。
平成19年10月に工事が完成し、平成20年2月より処理を開始した。

②高圧ポリエチレン工場の酢酸ビニルタンクのペントラインをフレアーラインに接続して
焼却する工事が平成24年2月に完成して、3月から使用開始した。

③高圧ポリエチレン工場のエチレン大気放出の削減（フレアーラインに接続して焼却）
平成23年10月にフレアーラインに接続ノズルの設置が完了した。

対策 3

4年に1回の工場の定期修理時（2022年2月）プロピレンタンク（半冷凍タンク）において定期修理時にフレアー並びに冷凍機の冷却水が2週間停止するため、現状のシステムでは4年毎にVOCを大気に放出しておりました。これに対し以下の対策を行いました。

冷凍機 1基を設置（冷却水使用でない空冷式を採用）

設置時期：2021年10月

(その四)

| | |
|------------|------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 住友化学株式会社 千葉工場 |
|------------|------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。) |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

[Large empty rectangular box for writing对策 (Countermeasures).]

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|------------|------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 三井化学株式会社 市原工場 |
|------------|------------------|

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策1 | 対策2 | 対策3 | 対策4 | 対策5 | 対策6 | 対策7 | 対策8 | 対策9 | 対策10 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|------|
| 5 1 | 5 2 | 5 3 | 5 4 | 5 5 | | | | | |

その他(19、29、39、49、59、99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

| |
|---|
| <hr/> |
|---|

(その四)

| | |
|------------|------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 三井化学株式会社 市原工場 |
|------------|------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|-------|
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|------------|----------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 株式会社プライムポリマー 姉崎工場 |
|------------|----------------------|

(2) 撥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 5 | 3 | | | | | | | | |

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(株)プライムポリマー姉崎工場では、基準年度以前から貯蔵タンクの排出口に凝縮器を設置し、排ガス中の揮発性有機化合物を冷却して凝縮液化回収する事で、大気排出量の抑制に努めている。また、VOC排出量は施設の稼働状況により多少の増減はあるが、平成25年度から成27年度に掛けて、2つの製造施設を停止したため基準年度と比較して約50%以上を削減している。

以上

(その四)

| | |
|------------|----------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 株式会社プライムポリマー 姉崎工場 |
|------------|----------------------|

③自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

全社方針により、パウダー乾燥系のサイロから排出されるVOC削減対策は、昨今の経営環境を踏まえ着手を延期していた(ヘプタン回収量；約80,000kg／年)が、令和5年度に第一ポリプロピレン製造装置を撤去するため、VOC排出量が削減される。

以上

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称 佐藤産業株式会社
成東工場

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 | | | | |

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

| | |
|------------|------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 佐藤産業株式会社 成東工場 |
|------------|------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| ○ | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

以前に算出方法を見直した結果、目標値を大幅に超えた数値が出ている。

今後、目標値を見直すとともに、こまめにフタを閉める等、啓蒙活動を行う。

。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄が○の場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|------------|--------------------|
| 工場又は事業場の名称 | コスモ石油株式会社 千葉製油所 |
|------------|--------------------|

(2) 撥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 |
|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 4 1 | 5 2 | 5 9 | | | | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

〔対策1 (41)〕

原油、揮発油（ナフサ、ガソリン）は、全て浮き屋根式（一部は内部浮き蓋付き）タンクであり、VOC対策は完了している。

〔対策2 (52)〕

第1陸上出荷場（ローリー出荷）、第2陸上出荷場（タンク貨車出荷）にて、ガソリン（HIG、REG）積込時に発生するVOC対策として、VOC回収装置（吸収溶剤灯油）の設置（第1：昭和63年、第2：平成2年）を完了している。

〔対策3 (59)〕

夏季の期間、VOC回収装置への冷却散水を行い、VOC排出抑制に努めている。
また、外気温が30度以上の場合、ナフサタンクの一部においてルーフ散水を行いVOCの発生を抑制している。

(その四)

| | |
|------------|--------------------|
| 工場又は事業場の名称 | コスモ石油株式会社 千葉製油所 |
|------------|--------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|---|
| 基準年度（平成12年度）と比較し、揮発性有機化合物の取り扱い数量が大幅に増加し、基準年度の排出量を達成するのは困難な状況が続いている。 |
| 現行のVOC対策についても、設備などの維持管理に努め、引き続き、VOCの発生を抑制していく。 |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|------------|------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 大洋塩ビ株式会社 千葉工場 |
|------------|------------------|

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2 | 9 | 3 | 1 | 5 | 1 | 5 | 9 | | |

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

【対策 1】について

- ・安定操業に努めました。

【対策 4】について

- ・廃液処理塔を設置し、スチームストリッピングにより排水中の塩ビモノマーを回収しました。

(その四)

| | |
|------------|------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 大洋塩ビ株式会社 千葉工場 |
|------------|------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

（この部分は記載例です。実際の記載欄は複数行あります。）

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|------------|--------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 東洋スチレン株式会社 五井工場 |
|------------|--------------------|

(2) 撥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 2 | 9 | 3 | 1 | | | | | | |

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

【対策 1】について

- ・生産工程からの発生（揮散）を減少させました。（安定操業に努めました）

(その四)

| | |
|------------|--------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 東洋スチレン株式会社 五井工場 |
|------------|--------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|-------|
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

横山容器工業株式会社
千葉工場

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2 | 1 | 3 | 3 | 9 | 1 | | | | |

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

| | |
|------------|--------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 横山容器工業株式会社 千葉工場 |
|------------|--------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成22年度以前 | 平成22年度 | 平成24年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

（この部分は記載用の空欄です。）

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事
業場の名称

富士電機株式会社千葉工場

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 9 | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

《対策 1》

- ・溶剤の低含有塗料による製品塗装の適用拡大

《対策 2》

- ・溶剤缶の揮発防止蓋の取り付けと励行（定期パトロールによる指導強化・実施状況の監視）

《対策 3》

- ・上塗り残塗料の転用（中塗り塗料へ流用し使用率の向上、事業所設備の補修塗装で流用）
- ・廃シンナーの回収（リサイクル事業者に売却、売却先の開拓）

(その四)

| | |
|------------|--------------|
| 工場又は事業場の名称 | 富士電機株式会社千葉工場 |
|------------|--------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|-----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| (B) | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|-------|
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称 宮地エンジニアリング株式会社
千葉工場

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 |

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

| | |
|------------|------------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 宮地エンジニアリング株式会社 千葉工場 |
|------------|------------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称 日鉄ドラム株式会社
千葉工場

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 5 | 6 | 9 | 1 |

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

| | |
|------------|-------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 日鉄ドラム株式会社 千葉工場 |
|------------|-------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|------------|------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 五井化成株式会社 本社工場 |
|------------|------------------|

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 5 2 | 5 9 | | | | | | | | |

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策について

平成19年度、VOC吸収装置を設置。

対策2の内容、重油吸着。

(その四)

| | |
|----------------|------------------|
| 工場又は事 業場の名称 | 五井化成株式会社 本社工場 |
|----------------|------------------|

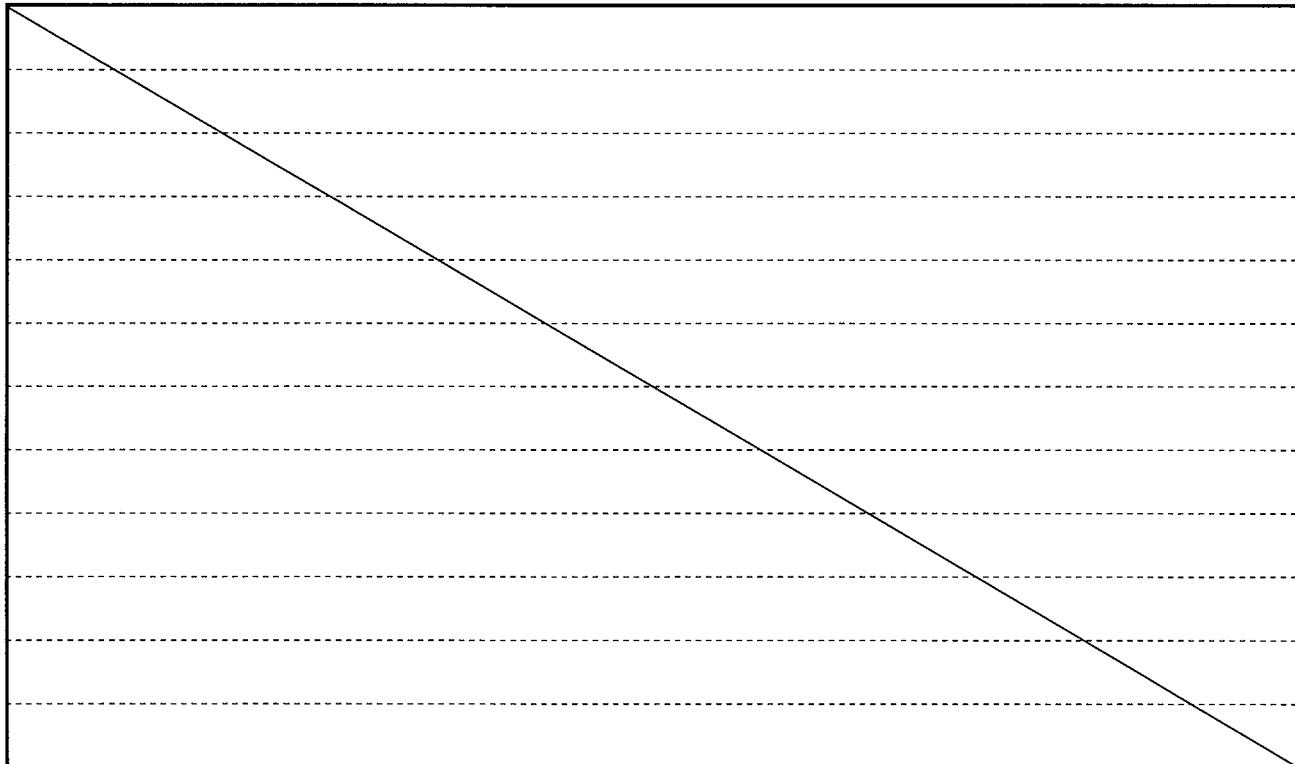
(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策



備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|------------|-------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 日産化学（株）袖ヶ浦工場五井製造所 |
|------------|-------------------|

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 2 | 9 | 5 | 2 | | | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

| |
|--|
| 1. 下記工程で製造する製品で溶媒を回収・再利用することで購入量を減らしました。 原料→溶媒の1次置換→反応→溶媒の2次置換→調整→製品 (1次置換及び2次置換とも同じ溶媒を使用。) 従来「溶媒の2次置換」で留出される溶媒を廃棄していたが、この溶媒中の水分及び反応溶剤の残渣量を管理することで次バッチの1次置換に使用する ことが可能となりました。令和4年度も継続運用しました。 |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|---------|
| イ 課題と対策 |
| 特になし。 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称 バイオマス燃料供給有限責任
事業組合 JBSL千葉ターミナル

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

バイオマス燃料の製造・供給は、国の「京都議定書目標達成計画」の実現のための施策として、石油連盟が2010年度からバイオETBEを年間84万KL程度導入し、国のCO₂排出削減に貢献するための事業です。バイオETBEの使用は、カーボンニュートラル効果により地球温暖化対策には寄与しますが、バイオETBEが揮発性有機化合物に該当するために内部浮屋根式タンクに貯蔵しVOC排出量を削減する等の対策を実施しています。

(その四)

| | |
|------------|-------------------------------|
| 工場又は事業場の名称 | バイオマス燃料供給有限責任事業組合 JBSL千葉ターミナル |
|------------|-------------------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|-----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| (A) | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|---|
| VOC排出量の削減対策として、内部浮屋根式タンクに貯蔵しています。令和4年度の実績においては、VOCの排出等の量が52,000kg/年度で目標達成率はA評価になりました。使用量の低下により多くVOCの排出等の量が低下しました。 |
| 計画と実績に大きな差異が発生しないよう調整します。 |
| 。 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称 宇部丸善ポリエチレン株式会社

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 5 | 4 | 9 | 1 | | | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

Handwriting practice lines consisting of three horizontal lines per row: a solid top line, a dashed midline, and a solid bottom line.

(その四)

| | |
|----------------|----------------|
| 工場又は事 業場の名称 | 宇部丸善ポリエチレン株式会社 |
|----------------|----------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称 不二ライトメタル株式会社
資材本部 東資材生産部

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2 | 1 | 9 | 1 | | | | | | |

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

| | |
|----------------|-----------------------------|
| 工場又は事 業場の名称 | 不二ライタメタル株式会社 資材本部 東資材生産部 |
|----------------|-----------------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| ○ | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

電着塗装にて IPA を使用しているが代替品がないため、切り替えることが難しい。

また、使用量を減らすことになれば生産量にも影響が出るため、使用量を意図的に減らすこともできない。

対策として生産を行っていない場合は、電着槽に蓋をし揮発量を削減することを継続して行っていく。

中長期的な計画ですが、艶有り電着槽には蓋が無いため設置及び回収装置の設置の検討を実施します。

また、代替品の調査・テストを引き続き継続します。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄が○の場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称 ダウ・東レ(株)
千葉工場

(2) 振発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

Handwriting practice lines consisting of three horizontal dashed lines for letter formation.

(その四)

| | |
|------------|------------------|
| 工場又は事業場の名称 | ダウ・東レ(株) 千葉工場 |
|------------|------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

前年と比べ、揮発性有機溶剤の使用量がほぼ横ばいとなり、計画していた削減目標に達成することができませんでした。目標達成に向け、使用量の削減等の検討をし、目標達成ができるように努力いたします。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称 DICグラフィックス株式会社
千葉工場

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 1 | 2 1 | 2 3 | 3 1 | 4 1 | 5 1 | 5 2 | 5 4 | 5 6 | 9 1 |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

Handwriting practice lines consisting of five sets of horizontal dashed lines for letter formation.

(その四)

| | |
|------------|---------------------------|
| 工場又は事業場の名称 | D I C グラフィックス株式会社 千葉工場 |
|------------|---------------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。) | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|-------|
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称 日本ホルマリン工業株式会社 千葉工場

(2) 挥発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策 10 | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 3 | 1 | 4 | 1 | 5 | 1 | 5 | 2 | 5 | 4 | 5 | 6 | 9 | 1 |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

Handwriting practice lines consisting of five sets of horizontal dashed lines for letter formation.

(その四)

| | |
|------------|------------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 日本ホルマリン工業 株式会社 千葉工場 |
|------------|------------------------|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|----|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|--|
| VOCの大気排出量の算出は、使用量に対して大気排出係数を掛けて算出している。 そのため、大気排出係数の見直しの実施を検討し、より実態とあった数値とし、 大気排出量の削減につなげる対策を検討します。 |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。